

しまね女性の活躍推進事業【島根県】

地域の実情と課題

- ①中山間地域が多く、県内企業の99.9%が中小企業で、小規模企業の割合が高い。
- ②女性の就労継続意欲が高く、就業を希望する女性が多いが、働き続けにくいと認識しており、夫の家事・育児時間も女性に比べ少ないため、女性に負担がかかっている。また、女性の管理職への昇進意欲は低い。
- ③県内全域で、企業において女性の活躍推進のための取組が進んでいるとはいえず、経営者、管理職等と女性間に意識の乖離がある。
- ④県内の有効求人倍率は全国に比べ高く、人手不足が深刻な状況にある。

事業の特徴

- ・連携団体が主体性をもって女性の活躍推進に取り組むため「しまね働く女性きらめき応援会議」にワーキングチームを設置し、事業を実施。
- ・経営者等の意識・行動改革・ネットワーク化を図るセミナーを開催。
- ・鳥取県と連携してワークライフバランスキャンペーンを実施。
- ・多様な働き方があることを知ってもらうためのセミナーや勉強会を開催。
- ・女性の就労支援を行うためのワンストップ支援窓口の、出張相談の開催。

事業の効果

- ・女性の活躍推進に向けて積極的に取り組む事業主等を県が登録する「しまね女性の活躍応援企業」の登録件数は、令和3年3月末で288社となった。
- ・イクボスセミナーの参加者は、目標100人に対して9割の参加を得た。
- ・R2年度、県として女性活躍を進めるために「女性活躍推進課」を新設し、部局横断的に施策を推進したことで、女性活躍に対する関心を高めることにつながったと考える。

目的・目標

全県での女性の活躍推進のための取組の促進「全国一働きやすく女性が活躍する県」の実現と県内企業の発展。

【事業目標:しまね女性の活躍応援企業登録数 275社(R2年度)】

【達成状況:令和3年3月末の登録数 288社】

連携団体

【しまね働く女性きらめき応援会議】

〔経済団体〕商工会議所・商工会連合会、中小企業団体中央会、経営者協会、経済同友会 他

〔農林水産団体〕JA、森林組合 他

〔労働団体〕連合島根、連合島根女性委員会

〔女性団体〕連合婦人会、21世紀職業財団、栄養士会、看護協会、保育協議会 他

〔教育機関〕島根大学、島根県立大学、松江高専

〔学識経験者〕〔行政〕など

今後の課題

- ・少しずつ女性活躍に対する関心や取組は広がりつつあるが、県内全域で女性の活躍促進のための取組が進んでいるとはいえず、継続しての働きかけが必要である。中小企業の多い島根県においては、経営者の意識が重要になるため、いかに経営者への意識・行動改革につながる取組を行うかが引き続きの課題である。
- ・また、男性の育児休業等の取得希望に比べ、取得しているケースが少ないことや、家庭において女性に負担が多くかかっている実態がある。
男性の働き方改革を含めた職場や社会全体の意識改革の働きかけや男性の家事・育児参画に係る事業が必要である。

事業の概要

<経営者等の意識・行動改革のためのセミナー>

経営者等の意識改革・行動改革のためのセミナーを行った。



<女性の起業支援セミナー>

「多様な働き方発信セミナー」と、起業に関心がある女性を対象とし、勉強会を実施した。



<ワークライフバランスキャンペーン>

男性の家庭での活躍を促進するとともに、働く場における女性の働きやすさ、活躍機会の増大につなげるためのキャンペーンを鳥取県と連携して実施した。



<女性就労ワンストップ窓口の出張相談の実施>

女性の多様なニーズに対応したきめ細やかな就労支援を行うため、ワンストップ支援窓口を開設しているが、窓口のない地域での出張相談を開催した。